

# 第7回 岡山大学いちょう並木研究サロン

平成22 (2010) 年7月13日(火)

時間：17：20～19：00

場所：50周年記念館・1階サロン

話題提供：「バイオマスは低炭素社会を築けない

・・持続可能社会とは努力目標である・・」

奥 彬 教授 京都工芸繊維大学名誉教授

## 【内容】

地球環境へのストレス緩和を目的として化石資源から植物バイオマスへの資源転換が始まった。だがすでに世界が消費する石油は、利用できるバイオマス量の数倍に達しており、資源を転換しても資源ストレスは増大して根本的解決策にはならない。最善の策は資源消費の総量を大幅削減するしかないのだ。多様なバイオマス資源の利用も大切だろうが、それが資源環境負荷の大幅な緩和につながらなければ手をつけられない。資源消費の総量削減など世界の産業経済界には考えられないことだろうが、それを乗り越えないと未来はない。資源転換よりも削減が大切、資源循環の徹底実施で「省」よりも「削」、それには「心」を豊かに育てる社会的ネットワークの編成が必要だ。

資源は有限だから繰り返し利用するために都市蓄積型の油田鉱山の実現が必要だ。だが日本の産業技術はいまだに廃プラの焼却処理、グリーン売りのPLLAの生分解処理やアロイ化、地殻深海中へCO2を廃棄する技術などの無駄を繰り返す。リニア新幹線も同じである。そこには物量を削減しながら経済活力を生み出す発想がなく、産業経済と生活の質を金銭、物の量、エネルギー量だけで量っている。このままでは科学技術は資源とエネルギーの消費を加速するばかりで、持続可能な社会へ背反を強めるだけだ。資源探査衛星は未来世代に役立つのか、科学技術者はどこまでどのように未来世代のことを考えているのか、忌憚なく語ってみたい。

そのあと・・自由闊達な 意見交換・懇談・交流を！

サロンは 19時00分まで開いております

## ワンコイン方式

(ビール/ソフトドリンク + サンドイッチ、菓子類)

飲み物をとりながら 提供話題を中心に ご議論・ご歓談ください

参加費は ワンコイン ( 教員:500円 学生:100円 ) です

最初の飲み物(ビール または ソフトドリンク) + サンドイッチ/菓子類

追加の飲み物は、実費をいただきます。

帰途に自動車の運転をなさる方は、お茶・ソフトドリンクを選んでください！

参加申込先：研究推進本部

電話：086-251-8466 メール：[res-pro@cc.okayama-u.ac.jp](mailto:res-pro@cc.okayama-u.ac.jp)

お名前・所属・電話番号をお知らせください。 2010/07/09 締切